



全国の先進組合を紹介します！

テーマ：組合員の強みを伸ばす社会貢献／本場さぬきうどん協同組合（香川）

● 廃棄麺類をフードバンクに提供し、食品ロスを軽減

■背景・目的

まだ食べられる食品が廃棄される食品ロスは、昨今の「もったいない」精神の浸透とともに注目を集めつつあります。組合員においては、各々が生産している冷凍麺、生麺、ゆで麺の賞味期限に近い在庫の処分を痛めており、有効に活用する方途を模索していました。平成27(2015)年に、代表理事の所属する組合員企業に対して、土庄町社会福祉協議会より「学童保育施設に提供してくれる食物はないだろうか」との打診があり、これについて代表理事が快く自社製造の賞味期限が近い冷凍うどんの提供を申し出ました。

■取組みの手法と内容

代表理事が課題の所在を認識し、広く組合員企業に呼びかけたところ、香川県内の多くの地域で同様な提供の申し出があり、組合を挙げて、「再使用・リユース」の形態で食品ロスの軽減に取り組むことになりました。現在は、香川県内の「各市町社会福祉協議会」と「特定非営利活動法人フードバンク香川」が連携して運営している食糧支援「香川おもいやりネットワーク事業」として、食品(麺類)の提供を日常的に実施しています。その流れは提供側(組合員企業)と受取側(要支援生活者や子ども食堂など)の橋渡しをし

ているフードバンク香川から見ると、以下の通りであります。

①食品提供の連絡を受ける。→②食品の種類・量・消費期限等のデータを受取側と事務局で情報共有する。→③提供側の指定する場所、または提供側が運びやすい場所で、食品を引き取る。→④食品を必要とする受取側へ引き渡す。

現在は、まだ一部組合員の参加に留まっているものの、多くの組合員が食品ロスの問題に真摯に取り組まなければならないという機運は醸成されつつあります。

■成果とその要因

当該事業に参加している組合員は、該当地域の受取側が喜んでくれるとの報告を受け、社会貢献できたと感謝しています。さらに、要支援生活者や学童保育の実態についての具体的な理解が進み、新たな社会貢献はできないものかと考え始めています。

今後は、組合員企業の1社でも多くの参加を推進していくとともに、全国的に麺業界の参加を呼びかける所存であります。同組合の代表理事は「全国製麺協同組合連合会」の会長でもあるため、実現する可能性は高いものと思われる。

Notice



三重労働局からのお知らせ

正社員と非正規労働者(短時間労働者・有期雇用労働者)との間で、不合理な待遇差が禁止されます！

大企業：2020年4月1日～ 中小企業：2021年4月1日～

①同じ企業で働く正社員と短時間労働者・有期雇用労働者との間で、基本給や賞与、手当、福利厚生などあらゆる待遇について、不合理な差の解消(同一労働同一賃金)が求められます。

②事業主は、短時間労働者・有期雇用労働者から、正社員との待遇の違いやその理由などについて説明を求められた場合は、説明をしなければなりません。

パートタイム・有期雇用労働法への対応に向けた取組手順書や業種別マニュアルなど、取組の参考となる情報や制度の詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。



具体的な労務管理の手法に関するお問い合わせは、三重働き方改革推進支援センターへ ☎0120-111-417 津市栄町2-209 セキゴン第二ビル2階 <https://task-work.com/mie/>



お問い合わせ先 三重労働局 雇用環境・均等室 059-226-2318

同一労働同一賃金への対応に キャリアアップ助成金をご活用ください！

「キャリアアップ助成金」は、有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者など、非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成する制度です。

●正社員化コース ●賃金規定等改定コース ●賃金規定等共通化コース ●諸手当制度共通化コース 他



お問い合わせ先 三重労働局職業安定部職業対策課 059-226-2111